

## 日本自然保護協会

## 2001 (平成13) 年度・財団法人の記録

(2002年4月24日監事監査、4月26日評議員会同意、5月29日理事会議決)

## 2001 (平成13) 年度財団法人の記録

## 1. 役員の変動

(1) 逝去 理事(会長) 沼田 眞 (2001/平成13年12月30日)

## 2. 会員数 (2002年3月31日現在)

(1) 普通会員	個人会員	13,209 人
	ファミリー会員	3,150 人 (1,050家族)
	個人特別会員	302 人
(2) 団体会員		1,043 口 (447団体)
(3) 賛助会員		110 口 (36法人)
	合計	17,814人/ 口 (前年度比 -553人/口)

---

## 3. 会議

## (1) 理事会評議員会

5月28日 理事会評議員会 (於: アルカディア市ケ谷)

2000 (平成12) 年度事業報告及び同収支決算について (議決)  
 第1回日本自然保護協会沼田眞賞の選考計画について (報告・了承)

## (2) 理事会

8月7日 臨時理事会(於:NACS-J事務局会議室)

広報・個人会員拡大事業の方向性について(検討)  
第1回日本自然保護協会沼田眞賞受賞者の決定について(報告・了承)  
「10/18NACS-J 50周年記念行事」及び「50周年記念の広報イベント群」実施計画の概要について(報告・了承)  
事務局長について(報告・了承)

12月13日 臨時理事会(於:NACS-J事務局会議室)

今後の事業の方向性と組織基盤の整備のあり方について(検討)  
職員の動向および契約職員の採用終了について(報告・了承)  
今年度予算の執行状況と補正予算の方針について(報告・了承)  
50周年記念講演会(10/18)の実施結果について(報告・了承)

2月13日 臨時理事会(於:NACS-J事務局会議室)

会員規程の改正について(議決)  
沼田眞会長の逝去とお別れの会について(報告・了承)  
第2回日本自然保護協会沼田眞賞の選考計画(報告・了承)  
会報『自然保護』の発行形態の変更計画について(報告・了承)  
基本財産等固定資産の資金運用方法の変更について(報告・了承)  
契約職員の増員計画について(報告・了承)  
環境省立入検査の実施について(報告・了承)

3月6日 臨時理事会(於:NACS-J事務局会議室)

2001(平成13)年度補正予算について(議決)  
2002(平成14)年度事業計画及び同収支予算素案について(検討)  
新評議員の選任方法について(検討)

3月25日 定例理事会(於:アルカディア市ヶ谷)

2002(平成14)年度事業計画及び同収支予算について(議決)  
新評議員の選任について(議決)  
2001(平成13)年度収支決算見込みについて(報告・了承)

### (3) 評議員会

## 2月7日 書面表決

2001（平成13）年度補正予算について（同意）

## 3月15日 定例評議員会（於：アルカディア市ヶ谷）

2001（平成13）年度補正予算について（追認同意）

2002（平成14）年度事業計画及び同収支予算案について（同意）

### (4) 委員会・会議

#### 1) 保護研究関連

4月20日	第1回保護研究委員会
6月29日	野生生物小委員会準備会
7月16日	第2回保護研究委員会
9月5日	第1回野生生物小委員会
10月12日	第2回野生生物小委員会
10月26日	第3回野生生物小委員会
11月23日	第4回野生生物小委員会
12月14日	第5回野生生物小委員会
12月23日	第6回野生生物小委員会

#### 2) 普及広報関連

5月26日	指導員養成講師会議
7月31日	第1回普及・広報委員会
11月14日	第2回普及・広報委員会
2月15日	会報編集ワーキンググループ準備会
2月16-17日	指導員養成講師会議
3月18日	環境教育ワーキンググループ準備会
3月26日	広報ワーキンググループ準備会

#### 3) その他

4月23日	プロ・ナトゥーラファンド助成事業第1回運営委員会
4月26日	第1回IUCN日本委員会
6月10日	第1回「NACS-J50年誌(仮称)」企画編集会議
6月19日	第1回日本自然保護協会沼田眞賞第1回審査委員会

7月16日	第1回IUCN世界保護地域委員会
7月24日	第1回日本自然保護協会沼田眞賞第2回審査委員会
8月13日	プロ・ナトゥーラファンド助成事業第2回運営委員会
9月1日	プロ・ナトゥーラファンド助成事業審査委員会
10月12日	第2回IUCN日本委員会
10月14日	第2回「NACS-J50年誌(仮称)」企画編集会議
11月6日	第2回IUCN世界保護地域委員会
2月12日	第3回IUCN日本委員会
3月4日	第4回IUCN日本委員会
3月7日	第3回「NACS-J50年誌(仮称)」企画編集会議
3月15日	第3回IUCN世界保護地域委員会

#### 4.意見書等の発表

##### (1) 意見書・要望書等(代表者名で提出)

4月24日	第4回有明海ノリ不作等対策関係調査検討委員会の議論に対する見解書(農林水産大臣、有明海ノリ不作等対策関係調査検討委員会委員長あて)
5月14日	諫早湾の潮受け堤防排水門を開門した調査に関する要望書(6団体連名、農林水産大臣、有明海ノリ不作等対策関係調査検討委員会委員長あて)
8月23日	有明海奥部における貧酸素水塊の発生に関する緊急調査の要請書(農林水産大臣、環境大臣、有明海ノリ不作等対策関係調査検討委員会委員長あて)
10月5日	港区がま池保護に関する要望書(東京都教育長、環境局長、港区長あて)
10月25日	山梨県北巨摩郡明野村のオオタカの保全に関する意見書(山梨県知事、山梨県環境整備事業団理事長あて)
10月29日	熊本県球磨川支流・川辺川におけるアユ魚体調査結果に基づく川辺川ダム計画見直しに関する意見書(国土交通大臣、環境大臣、熊本県知事あて)
12月18日	球磨川・川辺川の漁業権収用と流域委員会の設置に関する意見書(国土交通大臣あて)、「川辺川ダムを考える住民大集会」ならびに「流域協議会」に対する意見書(熊本県知事あて)
2月14日	日光国立公園尾瀬特別保護地区における携帯電話アンテナ設置に対する意見書(環境大臣あて)
3月12日	新・生物多様性国家戦略に対する意見書(環境大臣あて)

3月25日 野生生物とその生息地を守るための27の提言書（環境大臣あて）

(2) 声明・コメント等（担当責任者名で提出）

6月7日 愛知万博土砂取り場会場に対する意見（2005年国際博覧会協会あて）

6月25日 山梨県北巨摩郡明野村の産業廃棄物最終処分場予定地のオオタカの保全に関する公開質問状（山梨県知事あて）

7月6日 沖縄のジュゴン・ヤンバルクイナ・ノグチゲラの保全に関する共同声明

9月6日 電源開発（株）・湯ノ谷揚水発電計画中止に関するコメント

9月7日 諫早湾干拓事業見直しに対するNGOからの5つの提言（5団体連名、農林水産大臣あて）

9月14日 東京都・第9次鳥獣保護事業計画素案に対する意見（東京都労働経済局農林水産部あて）

10月9日 川辺川ダム事業における原石山変更発表に対するコメント

10月10日 第1回愛知万博会場計画モニタリング委員会に対する意見

10月24日 第2回愛知万博会場計画モニタリング委員会に対する意見

10月30日 諫早湾干拓事業見直し案に対する声明（3団体連名、農林水産大臣あて）

11月29日 川辺川生態系のアユを中心とする「専門家パネル」設置に関する質問（国土交通大臣、熊本県知事あて）

12月6日 国土交通省・水資源開発公団による利根川河口堰総合評価検討委員会報告書に対するコメント

1月15日 諫早湾干拓事業の再開に対する環境NGO声明（3団体連名、農林水産大臣あて）

2月21日 海や海辺に関する意見（国土交通省・沿岸域総合管理研究会あて）

5.委員の派遣（ ）内は要請主体

野生鳥獣保護管理検討会(環境省、継続)  
尾瀬シカ対策検討委員会(環境省、継続)  
自然環境保全基礎調査検討会(環境省生物多様性センター)  
淀川水系流域委員会(国土交通省近畿地方整備局、継続)  
緑の回廊モニタリング調査手法検討会(林野庁、継続)  
富士山・丹沢緑の回廊設置検討委員会(林野庁関東森林管理局)  
沖縄本島北部国有林の取り扱いに関わる検討委員会(林野庁九州森林管理局、継続)  
三番瀬再生計画検討会議(千葉県総合企画部)  
小笠原諸島アカガシラカラスバト保護増殖検討会(東京都環境保全局、継続)  
妙音沢急傾斜地対策委員会(埼玉県土木部、継続)  
新座市環境審議会(埼玉県新座市、継続)  
愛知万博会場計画モニタリング会議(2005年日本国際博覧会協会)  
手結港活性化計画推進協議会(高知県港湾局、継続)  
小笠原国立公園植生回復事業に関わる検討会(自然環境研究センター、継続)  
住民参加による環境影響評価手法検討委員会(公害地域再生センター(あおぞら財団))  
鳥類標識調査検討会(山階鳥類研究所、継続)  
田貫湖ふれあい自然塾プログラム評価検討委員会(環境省・環境教育フォーラム)  
全国小学校中学校環境教育賞・予備審査委員会(日本児童教育振興財団、継続)

## 6.印刷物の発行

### (1) 『自然保護』(特定使途寄付積立預金活用事業)

B5版、年10回、各21,000部(4、7/8、10、1/2月号は特別号・全36ページ、5、6、9、11、12、3月号は通常号・全20ページ)を発行

### (2) 報告書・資料集

報告書90号 環境アセスメント「人と自然との豊かな触れ合い」を考えるワークショップ フィールドから"かかわり"を読みとる目(2001年6月)

報告書91号 NACS-J自然保護セミナー「自然を守る、あの手この手」身近な自然の保護 - 持続可能な地域づくりを目指して - (2002年3月)

報告書92号 保護研究委員会野生生物小委員会提言 野生生物とその生息地を守るための27の提言(2002年3月)

- 資料集40 号 尾瀬保存期成同盟50周年シンポジウム・NACS-J50周年プレシンポジウム講演録21世紀の自然を考える - 国立公園の理想像を求めて（2001年4月）
- 資料集41 号 NACS-J自然観察指導員講習会テキスト 自然かんさつからはじまる自然保護2001（2001年5月）
- 資料集42 号 日本自然保護協会による意見書・提言書集No.3（2001年8月）

### (3) 出版

- 『生態学からみた身近な植物群落の保護』（2001年8月、大澤雅彦監修・NACS-J編集、講談社発行）
- フィールドガイドシリーズ(7)『雪と氷の自然観察』（2001年12月、NACS-J編集・監修、平凡社発行）

### (4) パンフレット他

- 個人会員入会案内パンフレット（12月、50,000部）
- 寄付パンフレット「1000円プリーズ」（10月、12,000部）
- 2001グッズカタログ春夏号（5月、35,000部）
- 2001グッズカタログ秋冬号（11月、20,000部）
- 自然しらべ2001「気になる自然」マニュアルパンフレット（7月、36,000部）
- 自然観察ガイド「みじかなしぜんかんさつ」（3月、30,000部）
- 「シゼンホゴフェス」告知用カード（11月、5,000部）
- 「シゼンホゴフェス」告知用ポスター（12月、15,000部）
- 「シゼンホゴフェス」当日配布用パンフレット（12月、15,000部）